

今月のKYT（危険予知トレーニング）

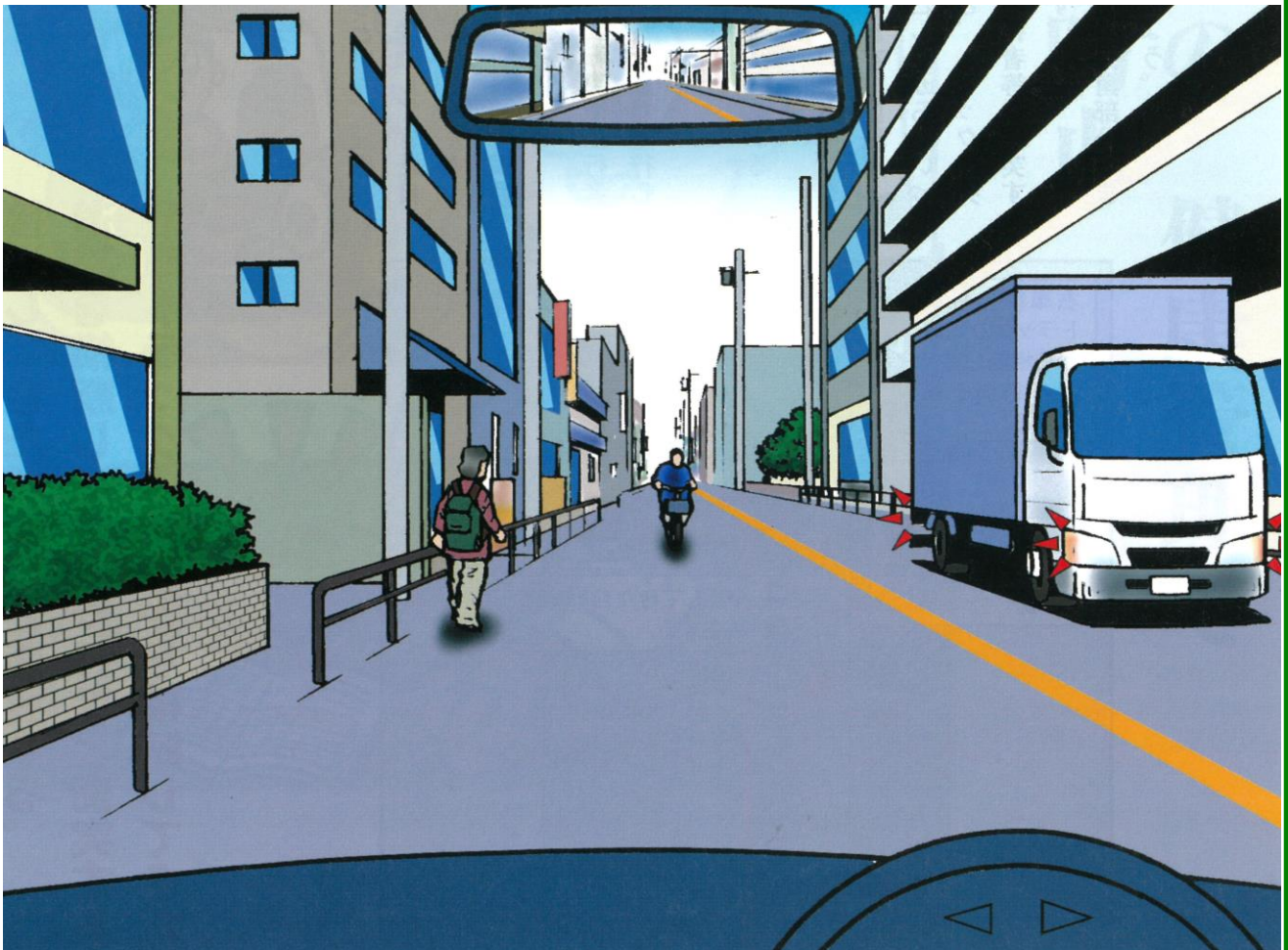
◆ 片側1車線の道路を走行しています。

- 前方の道路には歩行者がいるほか、自転車が接近してきます。
- 自車はこのまま進行したいのですが ……。

【解説は次ページ】

下記の KYT トレーニングを実施し、自己の危険予知能力を高めましょう！

Q あなたはどのような運転をしますか？



◎ 予想される危険を記入して下さい。 氏名 _____

1 _____

2 _____

3 _____



知 予 危 険 ポ イ ン ト

- ① 接近してきた自転車と衝突する。
- ② 道路を横断してきた歩行者と衝突する。
- ③ 駐車トラックの死角から横断してきた歩行者と衝突する。

前方の自転車と歩行者に
注意を払う

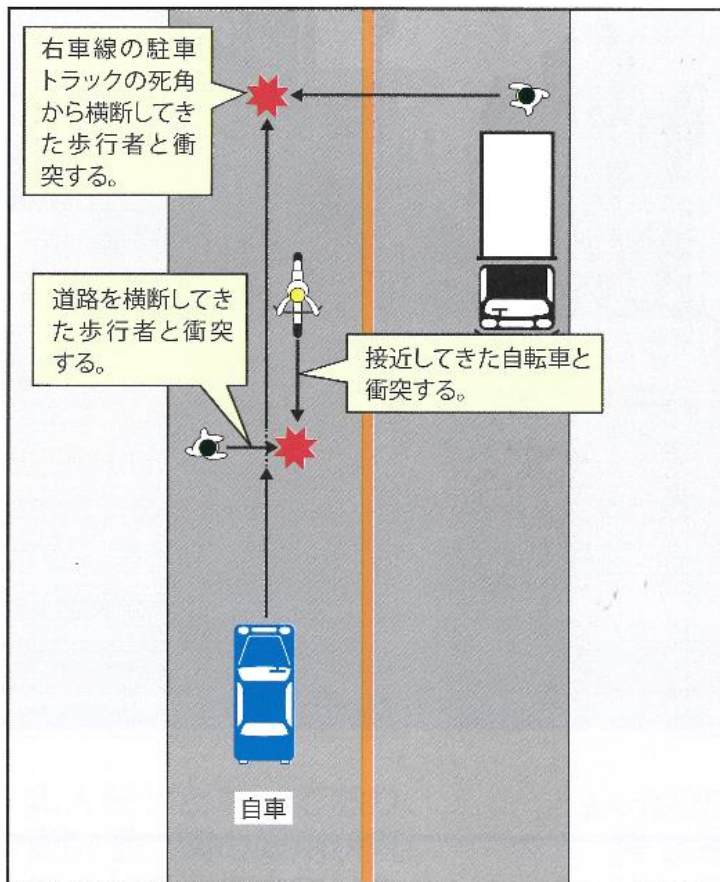
直線道路だからといって漫然と
走行していると、接近してきた自
転車と衝突する危険があります。
また、車道の歩行者が道路を横断
してくることも考えられます。

この場面では、自転車や歩行者
の動静をよく確認しながら進行し
ましょう。

周囲の安全もしっかり確認する

右前方に駐車しているトラック
が死角を作っています。自転車と
歩行者をやり過ぎたからといっ
て安心してると、トラックの死
角から出てきた歩行者等と衝突す
る危険があります。

走行中は、周囲の死角部分にま
で意識を向けましょう。



自転車や歩行者の動静を見きわめながら走行すること

KYT(危険予知訓練)は、交通場面を見て、どこに、どういう危険があるかを想像することで、危険を予測する訓練法です。

日々KYTを行い、危険感受度を高めて危険回避に役立てましょう。

※ 毎月配信しています。有効に活用し事故防止にお役立てください。